



ISO9001認証

コロナに負けるな!

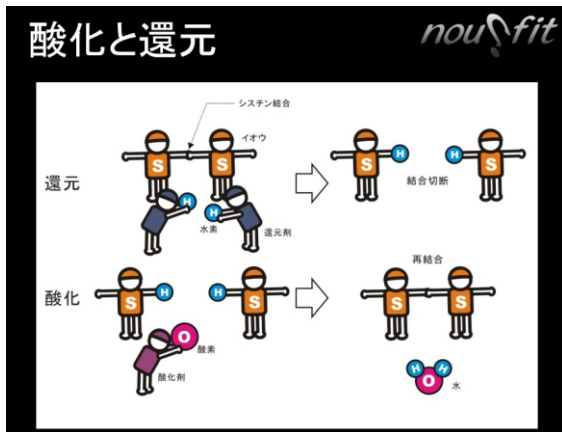


「本当の毛髪科学を勉強する機会に」

新型コロナウイルスの襲来で理美容室への来客にも影響が出ていますが、このような時こそお客様獲得に向けて改めて毛髪科学の勉強をしてみたいはいかがでしょうか。

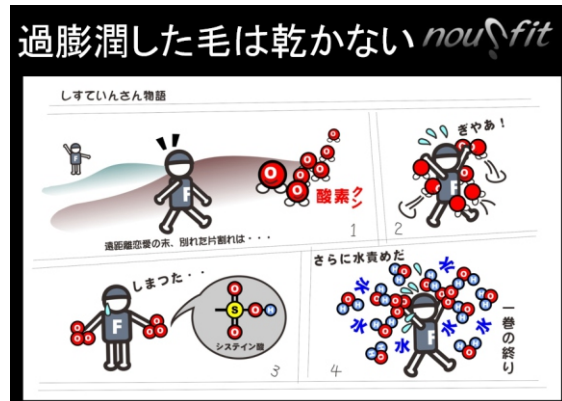
今回は、ヌーフット代表亀ヶ森が今年の1月に「毛髪診断士」を認定している日本毛髪科学協会さんの新春セミナーで講演したときのスライドを使用して、日頃何気なく行っているパーマやカラーでなぜ髪が傷むのかを、その解決方法と合わせてお知らせいたします。

先ずおさらいですが、パーマでは(図1)のように毛髪内のシスチン結合(S-S結合)を切る1液での「還元」と切れたS-S結合を再結合させる2液での「酸化」が行われます。このとき、毛髪をロッドに巻くなどして毛髪に持続的なカールをつけます。



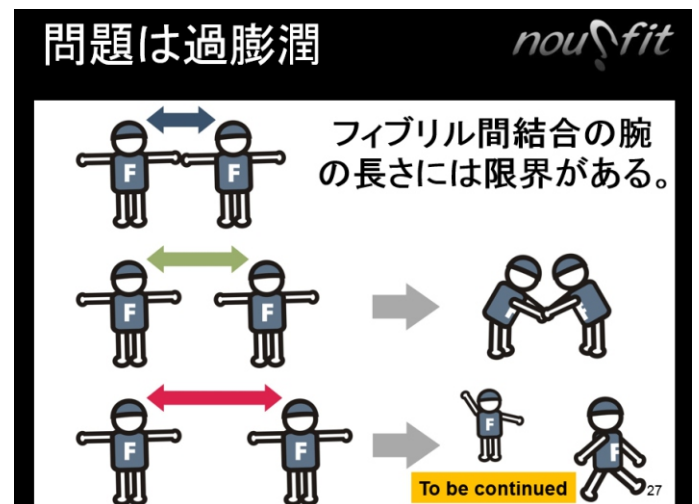
(図1)

距離が離れすぎてしまったフィブリル間のS-S結合は、2液で再結合しないばかりか、(図3)のように2液から発生される酸素によって「システイン酸」を生成してしまいます。



(図3)

パーマにとって大切なのはフィブリル間のS-S結合ですが、特にアルカリ性の還元剤を使用すると、(図2)のように毛髪が膨潤しフィブリル間が必要以上に開いてしまいます。この状態を過膨潤と言います。フィブリル間のS-S結合は過膨潤して距離が離れてしまうとパーマの2液をつけても再結合してくれません。



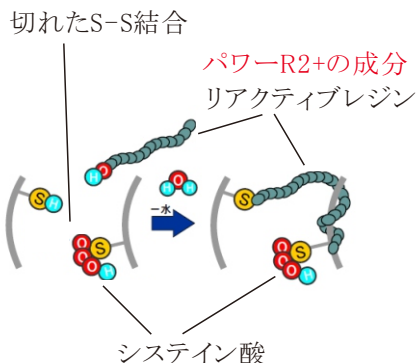
(図2)

システイン酸ができてしまうと二度と再結合しないので毛髪強度が低下して毛髪が傷んでしまいます。さらに、システイン酸は水を吸着しやすいのでなかなか髪が乾かないと言った現象を起こし、スタイリングするのにとっても時間がかかったりキレイなスタイルにならなかつたりしてしまうのです。

でも大丈夫! 裏面に続く

パワーR2+で毛髪強度回復

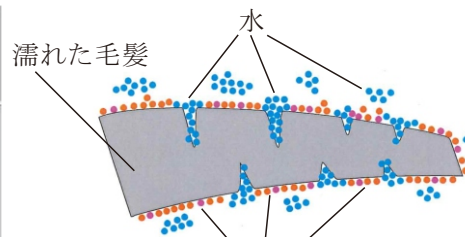
- 毛髪架橋剤 パワーR2+
- 220mL/1,800円(税別)
1000mL/7,000円(税別)



- パワーR2+は、「リアクティブレジン」の働きによってシステイン酸となって再結合できなくなったS-S結合の間を架橋して毛髪の強度を回復します。パーマ、ヘアカラーの前処理で使用すれば、薬剤による毛髪強度の低下を抑え、キレイなスタイリングとパーマ、ヘアカラーの持ちを向上します。パーマの2液と併用することでパーマ後のダメージ回復も行えます。

アルガノミクスで素早くドライ

- 保護ツヤ出しスプレー アルガノミクス・ツヤプラス
- 140g/1,400円(サロン様/税別)
2,000円(店販価格/税別)



アルガノミクスの成分

アルガンオイル
ツバキ油
18-MEA
シルクオイル
シアバター
サラツヤシリコーン

- アルガノミクス・ツヤプラスは、傷んだ毛髪の隙間に入り込んだ水を、様々な疎水成分によって毛髪表面に押し出すことで、濡れた髪を素早く乾かすことができます。アルガノミクスはツヤ出しスプレーですが、スタイリングしてから使うのではなく、スタイリングする前の濡れた髪にスプレーすることが効果的です。

品管だより

検査その1: 滴定

株式会社ヌースフィット
主任研究員 見坊啓子

ヌースフィットではサロン様に使っていただいているパーマ剤をいくつも作っています。パーマ剤にはきちんとパーマがかかるように薬剤(還元剤や酸化剤)が規定量配合されていなくてはなりません。品質管理課の検査項目の一つには製造課が作ったバルクに規定量の薬剤が入っているか確認するための滴定があります。わずかな誤差で滴定値が違ってしまうのでバルクを測り取るところから正確さとスピードが要求される重要な業務です。新人さんは先輩がやり終わったバルクをもらって何回も練習して、品質管理責任者の前でやってみてOKが出て初めて一人でできるようになります。こういった練習は教育訓練の一環でその人の能力に合わせて責任者がスケジュールを組んで一人前にできるように訓練します。最初はみんな学校でやったことがあっても忘れてしまっていて、なかなか手がうまく動かないのですが繰り返しやることでコツをつかんでいきます。どんな仕事でもやはり練習は大切です。

